

小集団を活用した特別な教育的ニーズのある児童の学習支援

企画者 大庭重治（上越教育大学大学院）
 葉石光一（上越教育大学大学院）
 司会者 葉石光一（上越教育大学大学院）
 話題提供者 大庭重治（上越教育大学大学院）
 田上智明（埼玉大学教育学部附属特別支援学校）
 山本詩織（東京都立江戸川特別支援学校）
 指定討論者 惠羅修吉（香川大学）

KEY WORDS : 学習支援, 小集団, 特別な教育的ニーズ

【企画趣旨】

小学校低学年の児童の中に、学習に対する苦手意識が強く、教室での学習だけでは十分な成果が得られない児童が存在する。そのような子どもたちに対しては、学習への動機づけを促すための環境整備が必要である。本シンポジウムでは、小集団を活用した学習支援に関連する研究成果を紹介し、次の3つの観点から、特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援のあり方について議論する。1) 小集団学習場面を活用することの意義とそこで期待される学習効果。2) 小集団での学習支援に求められる課題設定と支援者のかかわり方。3) 学習支援における小集団のさらなる有効活用のために必要な検討課題。

【話題提供者の趣旨】

◆ 大庭重治：学習支援における小集団学習場面の活用
 小学校低学年の児童の中には、読み書きや算数などの基礎的学習を始めとして、初期の段階から様々な学習につまずきを示す子どもたちが少なからず存在している。このような状態が長く続いた場合、学習の遅れを取り戻すことが一層困難になることから、早期に学習における動機づけを高めるための特別な支援の場を提供することが必要である。そのひとつの方法が、子ども同士の相互交渉が容易であり、かつ協同学習の機会を計画的に組織することができる小集団学習場面の活用である。本シンポジウムでは、特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援においてこのような小集団学習場面を活用することの意義とそこで期待される学習効果、及び小集団学習場面における支援者のかかわり方に関する新たな試み (Fig. 1) について話題提供を行う。

◆ 田上智明：交流感の充足手立てに関する研究

特別な支援を必要とする児童では、集団での活動参加に困難を示したり、活動に入れても注意が持続できなかったりして、学習につまずく姿が多く見られる。その失敗や挫折の経験は自信を喪失させ、学習意欲を低下させるという問題にもつながっている。こうした児童では、学習に対する内発的動機づけを高めることが求められる。特に、他者との「交流感」の充足が重要であり、それは他者との係わりが容易な小集団において達成されやすいといえる。すなわち、小集団活動を通して交流感を充足させることにより、学習意欲を高めることとができると考えられる。そこで、本シンポジウムでは、特別な支援を必要とする児童を含む小集団による活動場を設定して実施した学習支援に関する実践的研究の成果を紹介し、学習意欲の向上につながる交流感の充足を促すための小集団活動場面における課題設定のあり方と支援者の係わり方について話題提供を行う。

◆ 山本詩織：コミュニケーションの活性化に関する研究

特別な教育的ニーズのある児童の中には、他者とのコミュニケーションにおいて、他者の意見に応じて返答したり、自らの意見を適切に伝えたりすることが困難な者がいる。このような状況が生じる理由のひとつとして、活動を共にしている他者の発言や行動に対する注意が不十分であるために、その場の理解が曖昧な状態に留まっていることが考えられた。このことが学習時にも生じているとすると、他者の学習の様子を観察し、それを自らの解決方略に持ち込む機会を活用できていない可能性もある。そこで、本シンポジウムでは、協同での課題解決が求められる小集団活動場面を取り上げ、そこで展開されるコミュニケーション支援に関する実践的研究の成果を紹介し、特別な教育的ニーズのある児童が小集団を構成する他の児童の言動に注目できるようになるための課題設定上の工夫と支援者のかかわり方について話題提供を行う。

【指定討論者の趣旨】

以上の話題提供を受け、特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援においてこのような小集団学習場面を活用することの意義について再検討するとともに、より有効に活用していくためのさらなる検討課題を明らかにする。

(文献)
 大庭重治・葉石光一・八島猛・山本詩織・菅野泉・長谷川桂 (2012) 小集団を活用した特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援. 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要, 18, 29-34.

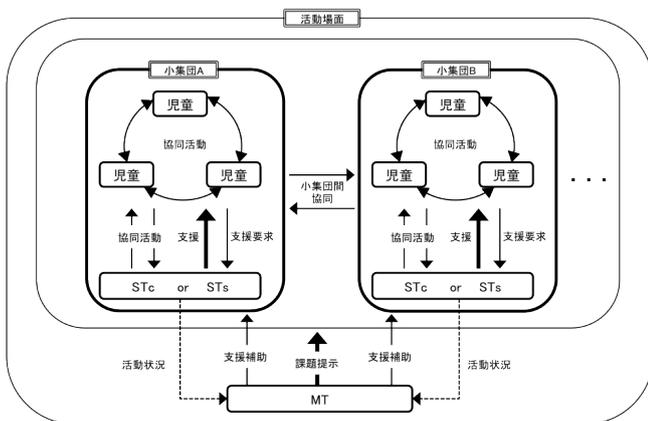


Fig.1 小集団学習場面の形成 (大庭他, 2012)

MT : Main Teacher
 STc : Sub Teacher as a Cooperator
 STs : Sub Teacher as a Supporter

(OHBA Shigeji, HAISHI Koichi, TAGAMI Tomoaki, YAMAMOTO Shiori, ERA Shukichi)